令和３年度　第１回（書面協議）

由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会

～　　書面協議　案件一覧　　～

１　報　告

報告第１号　令和２年度 由利高原鉄道（株）実績報告並びに
令和２年度 由利本荘市コミュニティバス等運行実績報告について

２　議　事

議案第１号　令和２年度　地域公共交通活性化再生協議会事業報告について

議案第２号　令和２年度　地域公共交通活性化再生協議会決算承認について

議案第３号　令和３年度　地域公共交通活性化再生協議会予算（案）について

議案第４号　公共交通空白地有償運送の登録更新について

議案第５号　岩城地区「岩城線」の路線変更について

議案第６号　令和４年度 生活交通確保維持改善計画（案）について

令和　３　年度
由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会（書面協議）

【委員】

区分	所属	職名	氏名（委員名）	備考
１号	由利本荘市	市長	湊　　貴　　信	
２号	東日本旅客鉄道株式会社秋田支社	総務部長	酒　井　　宏　彰	
	由利高原鉄道株式会社	代表取締役社長	萱　場　　道　夫	
	羽後交通株式会社	取締役社長	齋　藤　　善　一	
	一般社団法人秋田県ハイヤー協会	本荘由利支部長	小　石　　和　弥	
	秋田県由利地域振興局	建設部長	京　谷　　仁　美	
３号	由利本荘警察署	署長	若　月　　浩　志	
	国土交通省東北運輸局	鉄道部長	齊　藤　　仁　伸	
	国土交通省東北運輸局	秋田運輸支局長	五　十　嵐　　誠	
	秋田県観光文化スポーツ部	交通政策課長	小　松　　勝　統	
	秋田県由利地域振興局	総務企画部長	佐　　藤　　功	
	由利本荘市商工会	会長	佐　藤　　久　美	
	由利本荘市観光協会	会長	村　岡　　淑　郎	
	秋田しんせい農業協同組合	代表理事組合長	小　松　　忠　彦	
	一般社団法人由利本荘医師会	会長	渡　　邊　　廉	
	由利本荘市教育委員会	教育長	秋　山　　正　毅	
	由利本荘市校長会	会長	田　口　　良　徳	
	由利本荘市ＰＴＡ連合会	会長	小　番　　正　和	
	由利本荘・にかほ地域生徒指導研究推進協議会	高校部会長	熊　澤　　耕　生	
	由利本荘市身体障害者協会	会長	三　浦　　良　明	
	由利本荘市婦人団体連絡協議会	会長	土　田　　典　子	
	由利本荘市老人クラブ連合会	会長	前　　川　　侔	
	公益社団法人由利本荘青年会議所	理事長	鈴　木　　賢　幸	
	鳥海山ろく線運営促進連絡協議会	会長	佐　藤　　久　美	
	由利本荘市企画財政部	部長	高　橋　　重　保	
	本荘地域公共交通利用者		菅　原　　真　理	
	矢島地域公共交通利用者		菅　原　　賢　一	
	岩城地域公共交通利用者		川　上　　幸　一	

【委員】　（※備考欄の職氏名は本日の代理出席者）

区分	所属	職名	氏名（委員名）	備考
３号	由利地域公共交通利用者		多　田　厚	
	大内地域公共交通利用者		菊　地　洋	
	東由利地域公共交通利用者		長谷山　博昭	
	西目地域公共交通利用者		鷹　島　恵一	
	鳥海地域公共交通利用者		高　橋　荘一	
	秋田大学	准教授	日　野　智	
	秋田県立大学	准教授	星　野　満博	

【事務局：地域振興課及び各総合支所】

所属	職名	氏名	
企画財政部 地域振興課	課長	佐　藤　弘幸	
	班長	伊　藤　善裕	
	主事	平澤　裕一郎	
矢島総合支所 市民サービス課 振興班	主査	佐々木　茜	
岩城総合支所 市民サービス課 振興班	主事	澤　田　啓吾	
由利総合支所 市民サービス課 振興班	主事	伊　藤　佑	
大内総合支所 市民サービス課 振興班	主査	小助川　健志	
東由利総合支所 市民サービス課 振興班	主査	長　澤　辰徳	
西目総合支所 市民サービス課 振興班	主事	阿部　林太郎	
鳥海総合支所 市民サービス課 振興班	主席主査	豊　島　隆浩	

報告第１号

令和　２　年度 由利高原鉄道（株）実績報告並びに
令和　２　年度 由利本荘市コミュニティバス等運行実績報告について

１．由利高原鉄道

市の助成額：98,134,773 円（前年度 97,441,898 円）

【内　　容】由利高原鉄道㈱の運営費として、前年度（令和元年度）の経常損失額を補填する補助金

※うち県補助額＝18,000,000 円（上限）

２．コミュニティバス

運行経費　：127,056,418 円（前年度 127,608,260 円）

【実施地域】市内全８地域（本荘、矢島、岩城、由利、大内、東由利、西目、鳥海）

【実施形態】市街地内の循環バスのほか各集落と診療所、商業施設、公共施設などを結ぶ定時定路線型運行（一部定時定路線型予約運行あり）

※うち国庫補助 15,191,000 円、県補助額 23,837,000 円

※コミュニティバスの乗車実績参照

３．羽後交通路線バスへの補助金

市の助成額：111,301,000 円（前年度 108,478,000 円）

【実施地域】市全域

【実施形態】生活バス路線の運行にかかる経費の赤字の補填として、バス事業者に対して支払う補助金

※うち県補助額＝2,408,000 円

４．運転免許自主返納者支援制度

市の負担額：261,600 円（前年度 267,300 円）

【実施地域】市全域

【実施内容】高齢者の事故防止を図るため、運転免許証自主返納者にコミュニティバス運賃の半額を支援

（参考）上記１～４の経費、補助金等の集計

項 目	Ａ． 市が負担する 運行に係る経費 （1～4の合計額）	Ｂ． 国・県補助金	Ｃ． 運 賃 収 入	Ｄ． 市が負担する 実 質 経 費 （Ａ－Ｂ－Ｃ）
鉄 道	98,134,773	18,000,000	－	80,134,773
バ ス	238,619,018	41,436,000	9,067,660	188,115,358
合 計	336,753,791	59,436,000	9,067,660	268,250,131

（参考）　「Ｂ 国・県補助金」の他、「地方バス路線運行維持対策費」として
特別交付税（一般財源扱い）が 150,412,000 円参入されている。
（上記「Ｄ」－特別交付税＝117,838,131 円）

由利高原鉄道㈱　第３７期実績報告（R2.4月～R3.3月分）

○輸送人員

	定期外					
	矢島	前郷	本荘	本社扱い	普通計	ワンマン
令和元年度(36期)	11,141	3,555	17,885	2,335	34,916	5,801
令和２年度(37期)	9,515	1,890	10,864	2,005	24,274	5,316
対前年差	Δ1,626	Δ1,665	Δ7,021	Δ330	Δ10,642	Δ485
対前年比	85.4%	53.2%	60.7%	85.9%	69.5%	91.6%

○運輸収入

	定期外					
	矢島	前郷	本荘	本社扱い	普通計	ワンマン
令和元年度(36期)	5,357,983	1,153,602	7,992,653	896,679	15,400,917	1,658,760
令和２年度(37期)	3,465,900	636,217	3,782,755	3,313,717	11,198,589	1,523,102
対前年差	Δ1,892,083	Δ517,385	Δ4,209,898	2,417,038	Δ4,202,328	Δ135,658
対前年比	64.7%	55.2%	47.3%	369.6%	72.7%	91.8%

※本社扱い：通販・車内販売の販売扱い

報告第１号

（単位：人）

回数券	団体	定期外計	定期 通勤	定期 通学	定期計	総合計
8,206	9,893	58,816	21,214	78,832	100,046	158,862
8,426	4,780	42,796	19,832	68,842	88,674	131,470
220	Δ5,113	Δ16,020	Δ1,382	Δ9,990	Δ11,372	Δ27,392
102.7%	48.3%	72.8%	93.5%	87.3%	88.6%	82.8%

（単位：円）

回数券	団体	定期外計	定期 通勤	定期 通学	定期計	総合計
3,184,740	4,135,098	24,379,515	3,943,931	11,771,836	15,715,767	40,095,282
3,285,461	4,196,175	20,203,327	3,694,003	9,497,762	13,191,765	33,395,092
100,721	61,077	Δ4,176,188	Δ249,928	Δ2,274,074	Δ2,524,002	Δ6,700,190
103.2%	101.5%	82.9%	93.7%	80.7%	83.9%	83.3%

令和 2 年度　由利本荘市コミュニティバスの乗車実績

報告第１号

対象期間：令和２年４月～令和３年３月
下段（）内は令和元年乗車実績

地　域	路　線　名	令和２年度 運行内容	路線別 運行便数 (便) ①	路線別 乗車人数 (人) ②	路線別 乗車率 ②／①	地域別 運行便数 (便) ③	地域別 乗車人数 (人) ④	地域別 乗車率 ④／③
本　荘	循環バス（御門町）	毎日運行（日祝５便） １日９循環	3,013 (3,005)	10,611 (12,064)	3.5 (4.0)	7,388 (7,375)	22,237 (25,806)	3.0 (3.5)
	循環バス（八幡下）		3,017 (3,005)	9,936 (12,271)	3.3 (4.1)			
	子吉線（西地区）	週２日運行 １日７便	672 (665)	887 (752)	1.3 (1.1)			
	子吉線（東地区）		686 (700)	803 (719)	1.2 (1.0)			
矢　島	桃野線	週３日運行 １日２便	292 (292)	47 (76)	0.2 (0.3)	292 (292)	47 (76)	0.2 (0.3)
岩　城	岩城線（君ヶ野行き）	週５日運行 １日１２便	1,458 (1,440)	4,545 (5,102)	3.1 (3.5)	3,696 (3,630)	9,531 (10,278)	2.6 (2.8)
	岩城線（滝俣行き）		1,458 (1,428)	3,987 (4,201)	2.7 (2.9)			
	南沢線	週３日運行 １日４便	588 (564)	745 (787)	1.3 (1.4)			
	道川北線	週２日運行 １日２便	192 (198)	254 (188)	1.3 (0.9)			
大　内	中田代線	毎日運行（土日祝８便） １日１２便	3,904 (3,920)	8,731 (11,092)	2.2 (2.8)	9,006 (8,996)	15,305 (19,329)	1.7 (2.1)
	高尾線	毎日運行（土日祝８便） １日１０便	3,350 (3,348)	4,686 (5,882)	1.4 (1.8)			
	羽広－軽井沢線	週６日運行 １日６便	1,752 (1,728)	1,888 (2,355)	1.1 (1.4)			
東由利	八塩線	週５日運行 １日７便	1,715 (1,708)	2,221 (2,274)	1.3 (1.3)	2,910 (2,889)	3,420 (3,587)	1.2 (1.2)
	法内線	週３日運行 １日７便	1,036 (1,001)	911 (1,025)	0.9 (1.0)			
	大吹川線	週２日運行（全予約制） １日４便	159 (180)	288 (288)	1.8 (1.6)			
西　目	西目線	週６日運行（土曜４便） １日１０便	2,630 (2,600)	2,353 (2,695)	0.9 (1.0)	2,630 (2,600)	2,353 (2,695)	0.9 (1.0)
鳥　海	伏見笹子線	毎日運行（土日祝８便） １日１２便	3,884 (3,876)	4,786 (6,521)	1.2 (1.7)	9,277 (9,429)	8,441 (10,715)	0.9 (1.1)
	伏見笹子線（新沢平経由）	週２日運行 １日２便	194 (182)	372 (446)	1.9 (2.5)			
	中直根線	毎日運行（土日祝５便） １日８便	2,548 (2,539)	1,814 (2,342)	0.7 (0.9)			
	猿倉線	週５日運行 １日６便	1,205 (1,416)	404 (591)	0.3 (0.4)			
	皿川線	週５日運行 １日６便	1,446 (1,416)	1,065 (815)	0.7 (0.6)			
合　　計			35,199 (35,211)	61,334 (72,486)	1.7 (2.1)	35,199 (35,211)	61,334 (72,486)	1.7 (2.1)

【市コミュニティバス　運行費実績】 対象期間：令和元年10月～令和2年9月

報告第１号

No.	地域	路線名	系統数	道路運送法区分	運　行開始日	運行費用 (A)	運行収入 (B)	市負担額 (C)=(A)−(B)	国庫補助額	県補助額	市実質負担額	備　　考
1	本荘	循環バス	2	4条	H27.10.1	23,157,792	2,672,860	20,484,932	4,927,000	4,238,000	11,319,932	
2		子吉線	4	4条	H28.10.1	7,155,084	246,600	6,908,484	1,002,000	863,000	5,043,484	
3	岩城	岩城線	4	4条	H24.4.1	15,365,525	1,081,500	14,284,025	0	3,058,000	11,226,025	
4		南沢線	2	4条	H15.4.14	1,055,981	90,700	965,281	0	0	965,281	
5		道川北線	1	4条	H27.10.1	288,851	35,600	253,251	61,000	52,000	140,251	
6	大内	高尾線	2	79条	H24.4.1	11,207,918	770,700	10,437,218	0	4,256,000	6,181,218	
7		中田代線	2	79条	H28.4.1	14,526,287	1,583,500	12,942,787	3,415,000	2,938,000	6,589,787	
8		羽広ー軽井沢線	29	79条	H28.4.1	10,562,738	246,300	10,316,438	1,135,000	1,335,000	7,846,438	
9	西目	西目線	1	79条	H23.4.1	5,655,082	377,900	5,277,182	1,640,000	1,411,000	1,030,000	
10	鳥海	伏見笹子線	7	79条	H24.4.1	11,865,333	855,300	11,010,033	0	3,076,000	7,934,033	
11		猿倉線	1	79条	H19.10.1	1,504,485	62,200	1,442,285	0	0	1,442,285	
12		中直根線	4	79条	H19.10.1	8,429,822	318,900	8,110,922	0	20,000	8,090,922	
13		皿川線	1	79条	H19.10.1	2,596,182	110,800	2,485,382	0	0	2,485,382	
14	矢島	桃野線	1	79条	H24.10.1	1,690,993	7,400	1,683,593	0	0	1,683,593	
15	東由利	八塩線	2	4条	H28.10.1	6,732,497	348,200	6,384,297	2,333,000	2,007,000	2,044,297	
16		法内線	3	4条	H28.10.1	3,683,666	193,600	3,490,066	678,000	583,000	2,229,066	
17		大吹川線	7	4条	H28.10.1	1,578,182	65,600	1,512,582	0	0	1,512,582	
合　　計			73	路線数17		127,056,418	9,067,660	117,988,758	15,191,000	23,837,000	77,764,576	
令和元年度合計			73	路線数17		127,608,260	10,995,510	116,612,750	17,589,000	22,493,000	75,521,108	

※本表は「秋田県生活バス路線等維持費補助金」対象期間で算定。

議案第１号

令和　２　年度 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会 事業報告について

【協議会開催】

◆令和２年４月３日通知（書面協議）
・令和２年度鉄道軌道安全輸送設備等整備事業
・鉄道事業者の収支改善計画

◆令和２年６月３０日通知（書面協議）
・令和元年度事業報告、決算並びに令和２年度事業計画、予算
・令和３年度　生活交通確保維持改善計画（案）
・岩城地区「岩城線」の路線変更

◆令和２年１１月１１日開催
・乗り[逢い]交通事業の実施（石脇地区「石脇新山乗合タクシー」）

◆令和３年１月４日通知（書面協議）
・令和２年度 地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）に関する評価

◆令和３年２月９日開催
・新型コロナウイルス感染症対策支援事業の進捗状況
・由利高原鉄道（株）第３７期実績報告（令和２年度）並びに令和２年度由利本荘市コミュニティバス等運行実績報告
・由利本荘市地域公共交通網形成計画の実施事業等の検証
・乗り[逢い]交通事業の実施（本荘地域石沢地区）
・乗り[逢い]交通事業の運行範囲拡大（由利地域小菅野集落）
・令和２年度鉄道軌道安全輸送設備等整備事業【三次補正予算】の実施（由利高原鉄道株式会社）

【分科会開催】

■地域公共交通活性化再生協議会分科会（令和２年１月２０日開催）
・由利本荘市地域公共交通網形成計画（第二次）実施事業等の検証

【事業内容】

・１月の分科会で報告したとおり網形成計画に定める各種事業を推進した
・特に、路線バスとコミバスの接続強化や対話会、乗り[逢い]交通導入などに注力して成果を得られた
・由利高原鉄道の通学定期代の軽減に向けて市、鉄道両者で検討した結果、定期代の割引きという形で試行していただき大幅な利用者増となっている

議案第２号

令和　２　年度 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会決算書

歳入総額	223,000	円
歳出増額	223,000	円
差引残額	0	円

１　歳入　　（単位：円）

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	比較増減	摘要
1　負担金	223,000	223,000	0	由利本荘市より
2　諸収入	1,000	0	△ 1,000	
合計	224,000	223,000	△ 1,000	

２　歳出　　（単位：円）

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	比較増減	摘要
1　事業費	222,000	207,970	△ 14,030	網形成計画事業の実施 分科会の開催
2　返還金	1,000	15,030	14,030	由利本荘市へ
3　予備費	1,000	0	△ 1,000	
合計	224,000	223,000	△ 1,000	

監　査　報　告　書

令和２年度 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会の収入、支出について監査した結果、関係諸帳簿、証票に適合し、かつ適正であることを認めましたので報告いたします。

令和 ３ 年 6 月 11 日

監査委員　前川　伸

監査委員　多田　厚

議案第３号

令和　３　年度 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会予算（案）

歳入総額	224,000	円
歳出総額	224,000	円
差引残額	0	円

１　歳入　（単位：円）

項目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	摘要
１　負担金	223,000	223,000	0	由利本荘市より
２　諸収入	1,000	1,000	0	預金利息等
合計	224,000	224,000	0	

２　歳出　（単位：円）

項目	本年度 予算額	本年度 予算額	比較増減	摘要
１　事業費	222,000	222,000	0	網形成計画事業の実施 分科会の開催
２　返還金	1,000	1,000	0	由利本荘市へ
３　予備費	1,000	1,000	0	
合計	224,000	224,000	0	

※　１．事業費は、網形成計画（第二次）の事業推進経費並びに事業検証・検討に係る分科会開催経費

※　事業完了後に残額が生じる場合は市へ返還する（戻入処理）

議案第４号

交通空白地有償運送の「更新」について

１．更新等の理由

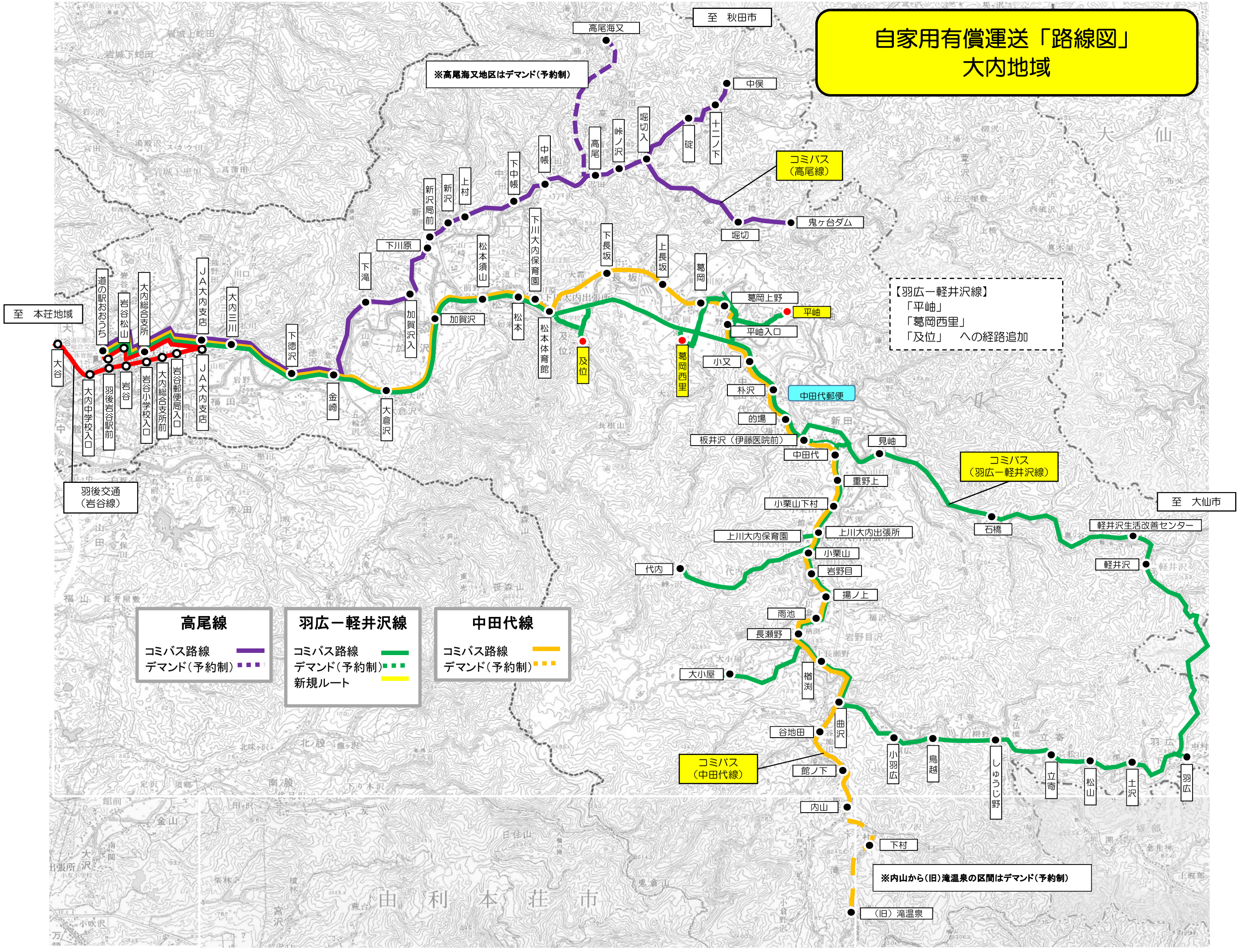
登録有効期間の満了（令和３年９月３０日まで）に伴い、下記路線について更新を行うもの。

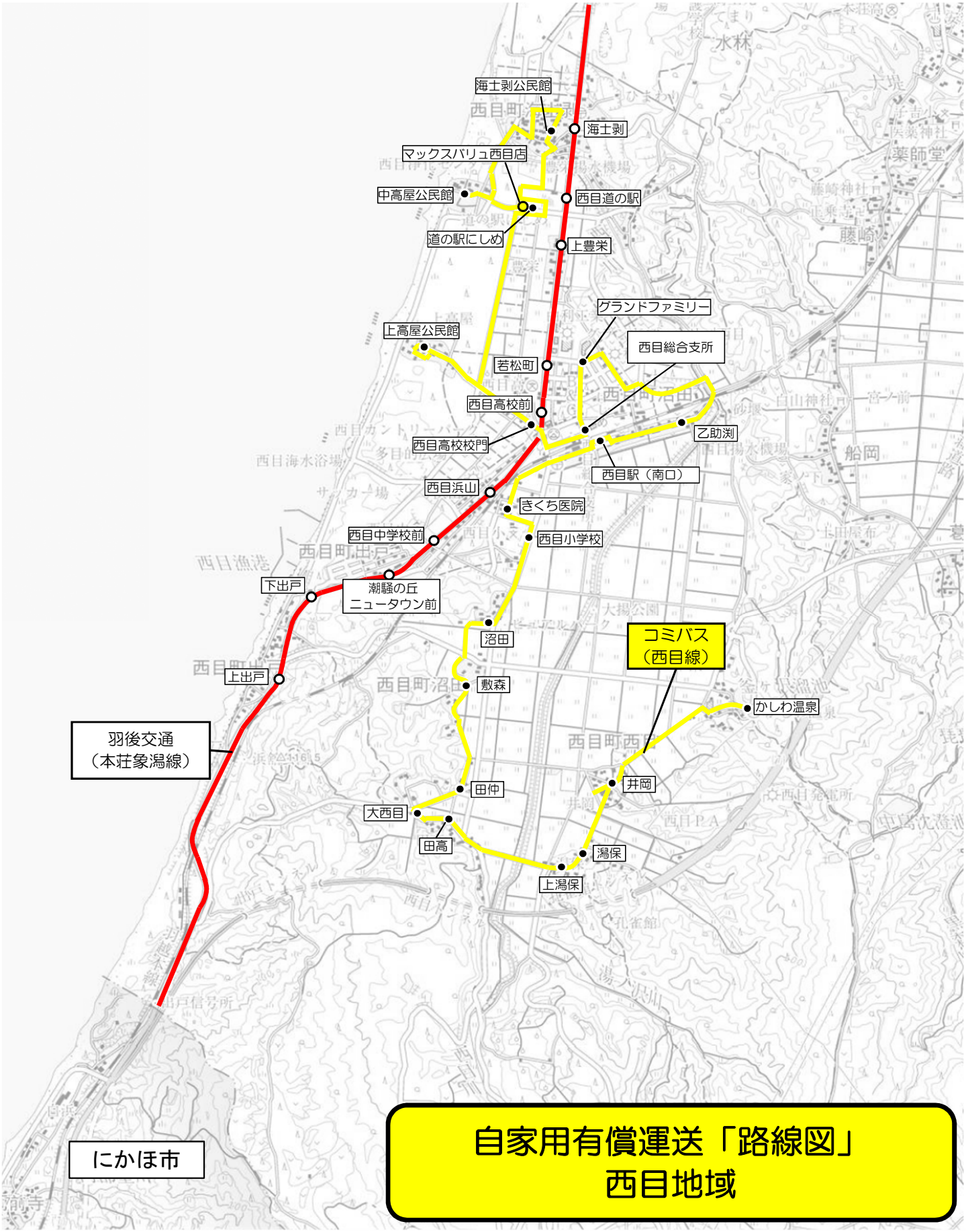
２．更新登録期間　　令和３年１０月１日～令和６年９月３０日（３年間）

３．更新等路線

地域名	路線名	系統数	区分	運行形態	使用車両	使用料（運賃）		運送しようとする旅客の範囲
						大人（中学生以上）	小学生	
大内地域	高尾線	1	更新	運行管理委託（（株）大内交通サービス）	バス１台（14人乗）	一乗車２００円 （回数券） 11回券　2,000円 （通学定期券） 中学生 １ヶ月　4,000円 ３ヶ月　11,400円 ６ヶ月　21,600円 高校生 １ヶ月　4,800円 ３ヶ月　13,600円 ６ヶ月　25,900円	一乗車１００円 （回数券） 11回券　1,000円 （通学定期券） 小学生 １ヶ月　2,400円 ３ヶ月　6,800円 ６ヶ月　12,900円	当該区域内及びその縁者並びに当該区域来訪者等の輸送
	羽広－軽井沢線	7	更新	運行管理委託（（株）大内交通サービス）	バス１台（14人乗）			
	中田代線	2	更新	運行管理委託（（株）大内交通サービス）	バス１台（25人乗）			
西目地域	西目線	1	更新	運行管理委託（（有）本荘浜砂利店）	ワゴン車（10人乗）			
鳥海地域	伏見笹子線	5	更新	運行管理委託（佐藤建設（株））	バス１台（25人乗）			
	猿倉線	1	更新	運行管理委託（佐藤建設（株））	ワゴン車（８人乗）			
	中直根線	2	更新	運行管理委託（佐藤建設（株））	ワゴン車（10人乗）			
	皿川線	1	更新	運行管理委託（佐藤建設（株））	ワゴン車（10人乗）			
矢島地域	桃野線	1	更新	運行管理委託（（有）周防工務店）	ワゴン車（10人乗）			

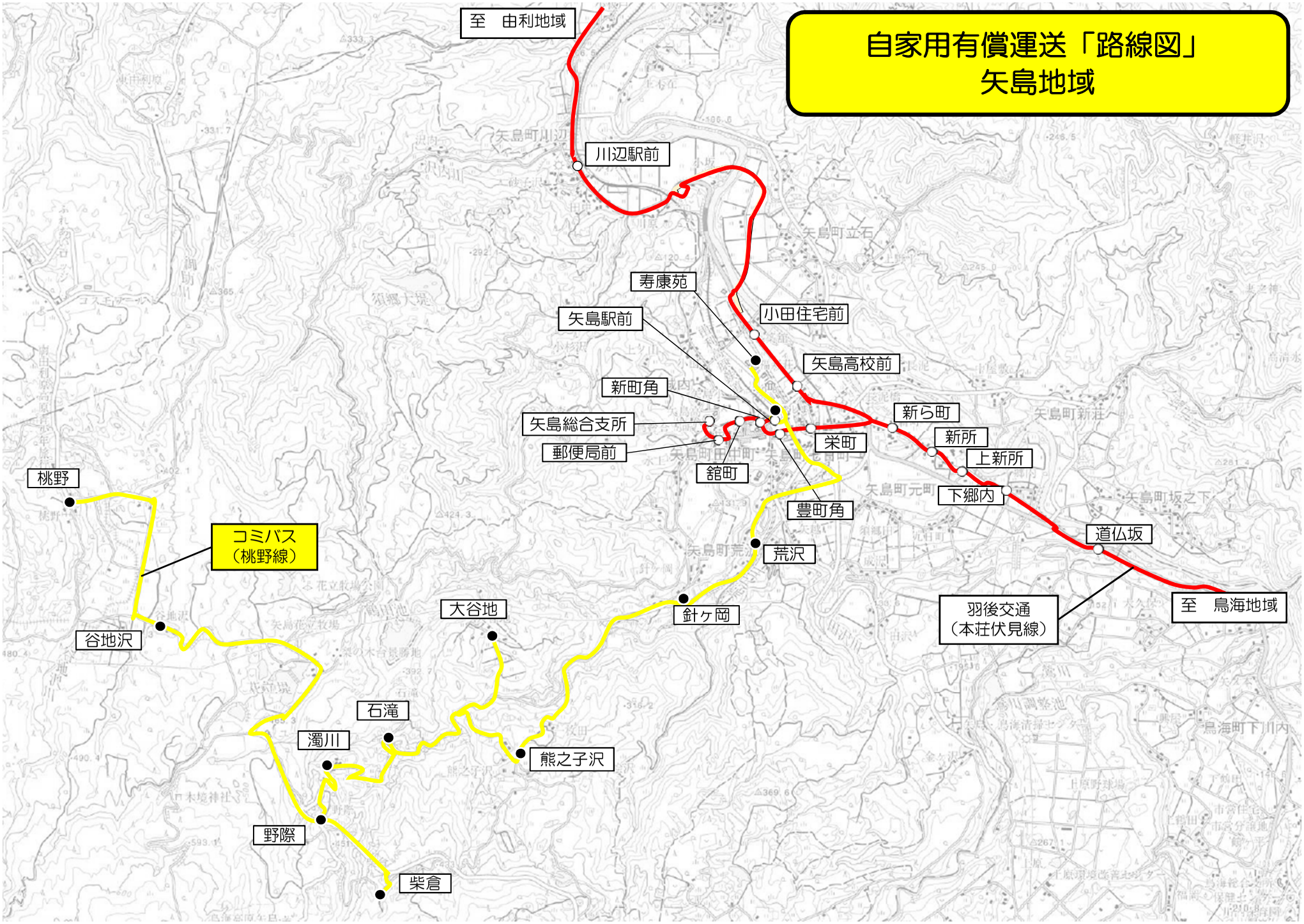
自家用有償運送「路線図」
大内地域

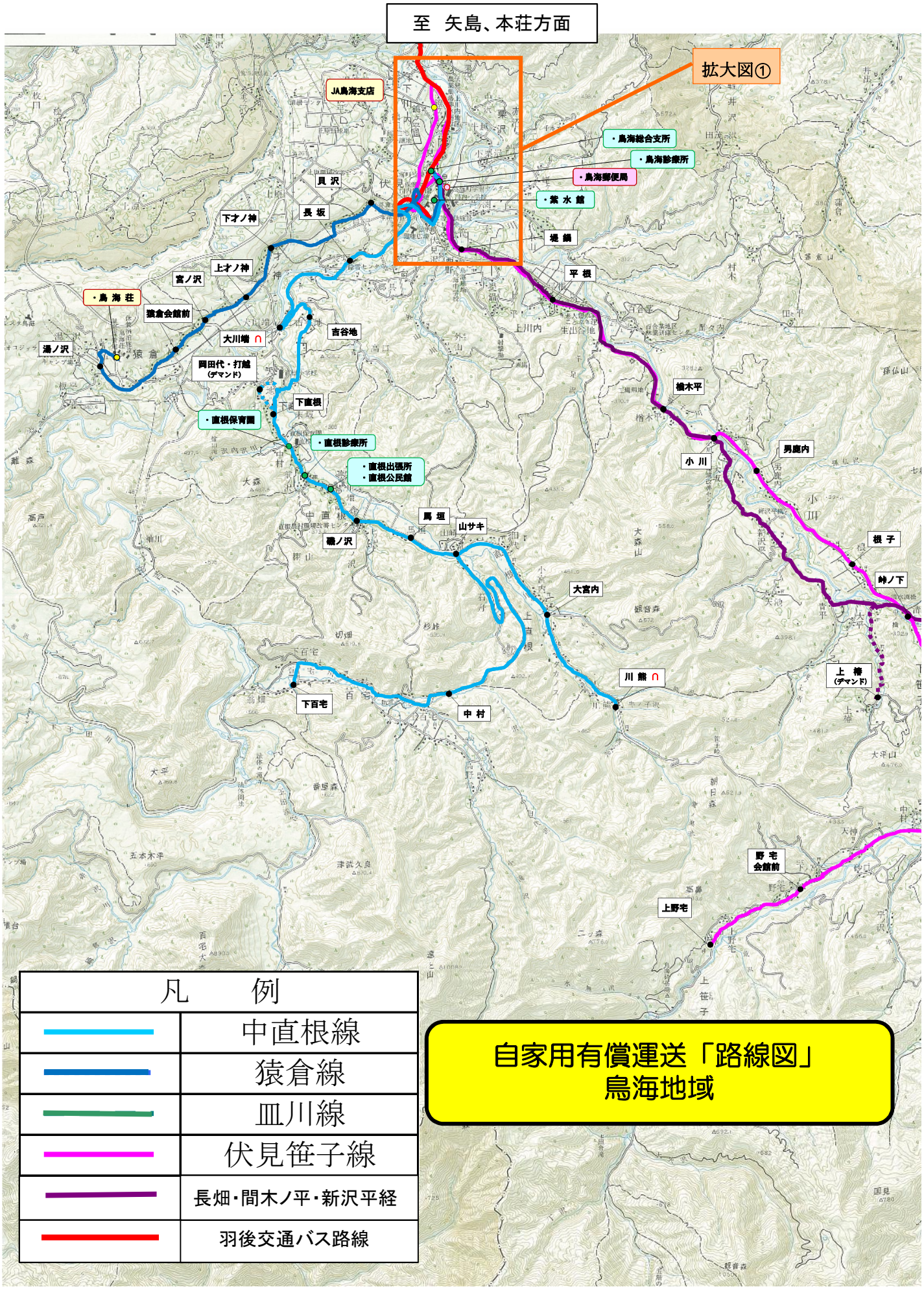


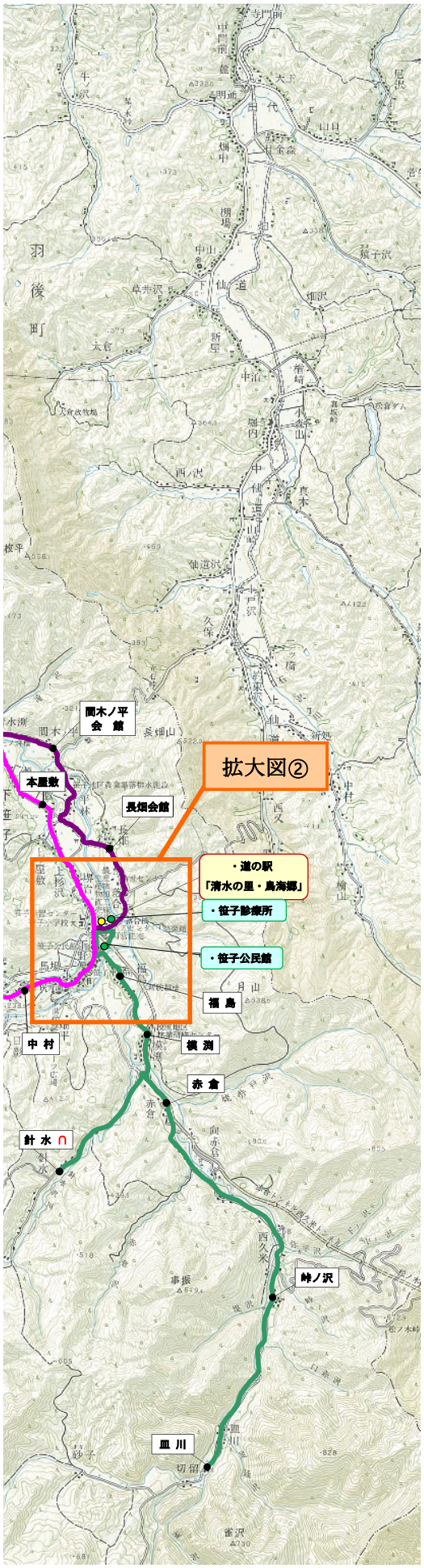


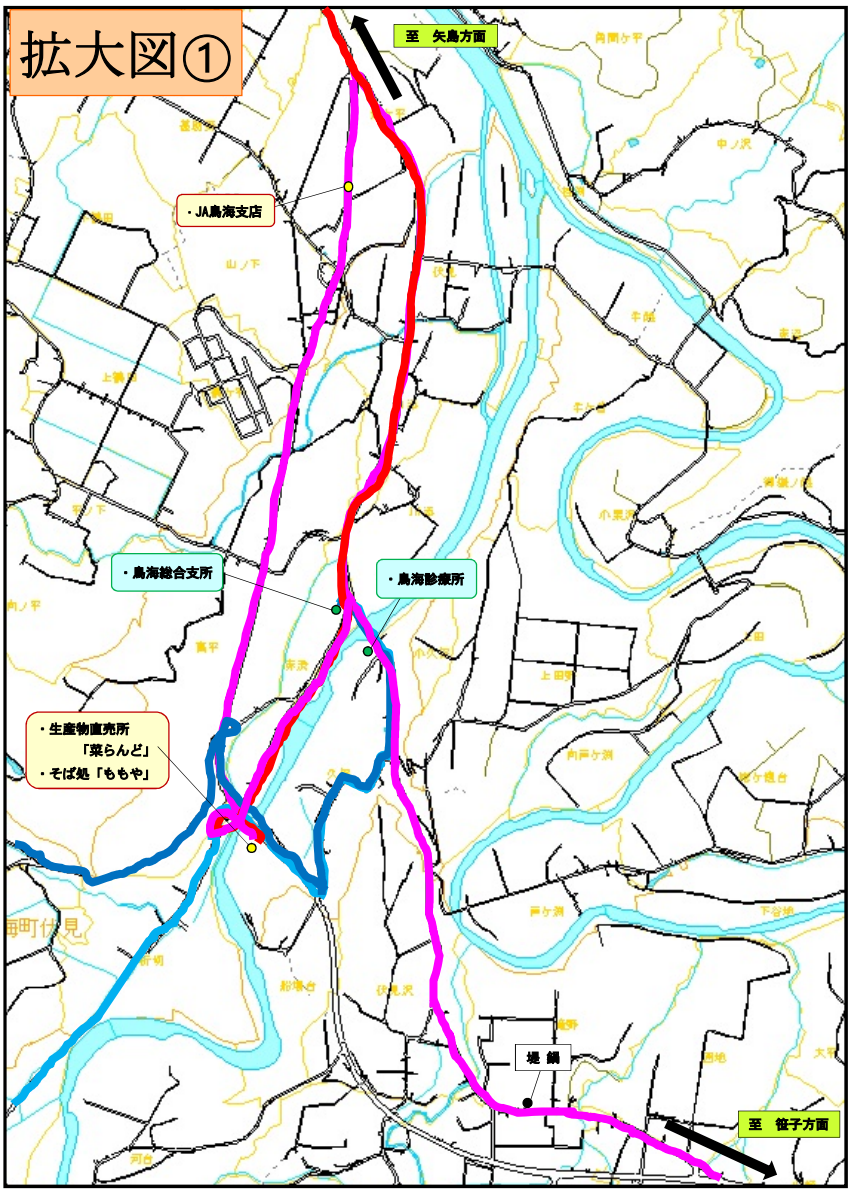
自家用有償運送「路線図」
西目地域

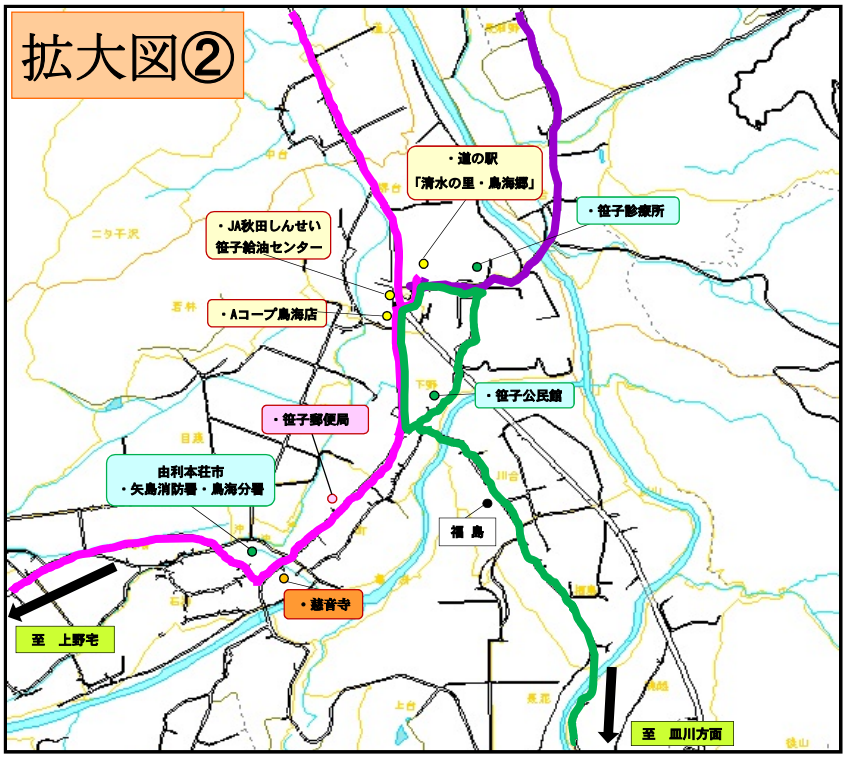
自家用有償運送「路線図」
矢島地域




至　矢島、本荘方面
拡大図①
JA鳥海支店
・鳥海総合支所
・鳥海診療所
・鳥海郵便局
・紫 水 館
堤 鍋
平 根
貝 沢
長 坂
下才ノ神
上才ノ神
宮ノ沢
・鳥 海 荘
猿倉会館前
湯ノ沢
大川端
吉谷地
岡田代・打越
(デマンド)
下直根
・直根保育園
・直根診療所
・直根出張所
・直根公民館
馬 垣
山サキ
職ノ沢
大宮内
川 熊
中 村
下百宅
檜木平
小 川
男鹿内
根 子
峠ノ下
上 樽
(デマンド)
野 宅
会館前
上野宅
凡　　例
中直根線
猿倉線
皿川線
伏見笹子線
長畑・間木ノ平・新沢平経
羽後交通バス路線
自家用有償運送「路線図」
鳥海地域


間木ノ平
会　館
本屋敷
長畑会館
拡大図②
・道の駅
「清水の里・鳥海郷」
・笹子診療所
・笹子公民館
福　島
中　村
横　渕
赤　倉
針　水
峠ノ沢
皿　川


拡大図①
至　矢島方面
・JA鳥海支店
・鳥海総合支所
・鳥海診療所
・生産物直売所
「菜らんど」
・そば処「ももや」
堤　鍋
至　笹子方面


拡大図②
・道の駅
「清水の里・鳥海郷」
・笹子診療所
・JA秋田しんせい
笹子給油センター
・Aコープ鳥海店
・笹子公民館
・笹子郵便局
由利本荘市
・矢島消防署・鳥海分署
福　島
・慈音寺
至　上野宅
至　皿川方面

議案第５号

岩城地域「岩城線」の路線変更について

（１）変更の内容

岩城線の一部運行経路を見直しする。

変更内容	・あきた病院バス停から道の駅（港の湯）バス停までの経路について、国道７号線を通っていたが、内道川（川南）地域を通るルートへ変更。 ・内道川（川南）地域に２箇所バス停を増設 ・経路を、デイサービス花ちゃん⇒内道川会館⇒地蔵堂前⇒道の駅（港の湯）⇒　あきた病院に変更
背　　景	【内道川自治会から要望】 内道川地域においても、高齢化が進み移動が困難な状況にある。昨年までは、岩城地域にタクシーの営業所があり、タクシーを利用し通院等で移動されていたが、昨年をもって廃止となり交通手段が無い状況。
効　　果	住宅が多い経路のため、利用者の増加に繋がる。
利用見込	５０人程度（変更ルート部分：月間）
キ ロ 程 ・ 所要時間	（キロ程）　（所要時間） 【変更前】　３５．２ｋｍ　６８分 【変更後】　３５．４ｋｍ　７１分
運　　賃	・大人（中学生以上）　一律２００円 ・小学生以下　一律１００円（未就学児無料） （変更なし）
便　　数	１日　６便 ※土・日・祝日：全便運休 年末年始（12/31～1/3）：全便運休 （変更なし）
停留所数	【変更前】　２１ヶ所 【変更後】　２３ヶ所
使用車両	日野ポンチョ（２５人乗り）
運行形態	委託　光タクシー株式会社による運行
変 更 日	１０月１５日（金）

「岩城線」ルート変更案

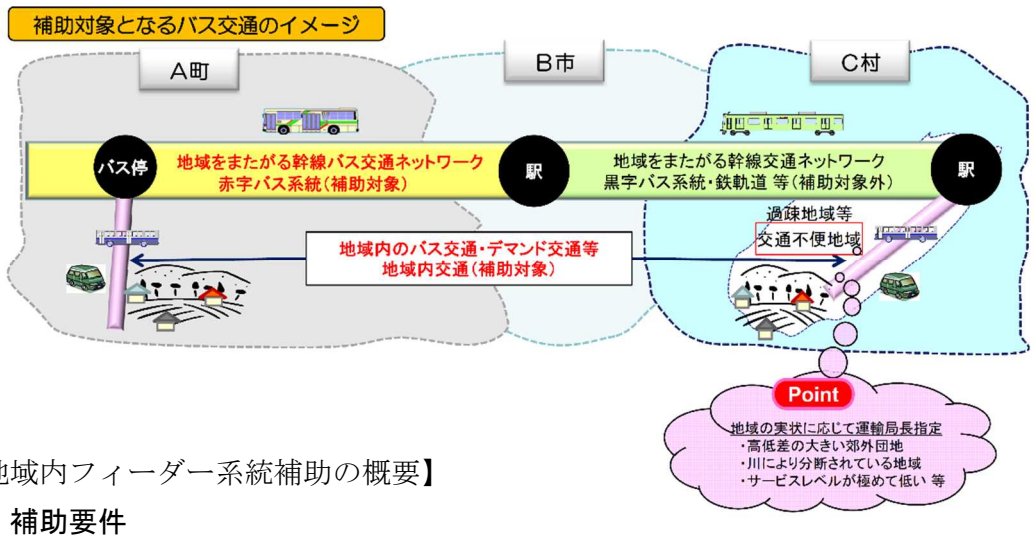
現　状
④あきた病院
国道７号
③デイサービスセンター花ちゃん
②岩城みなと駅
⑤道の駅（港の湯）
①　岩城総合支所
＝既存バス停
＝新設バス停
○の数はルート順です
変更案
⑦あきた病院
④内道川会館
③デイサービスセンター花ちゃん
⑤地蔵堂
②岩城みなと駅
⑥道の駅（港の湯）
①　岩城総合支所

議案第６号

生活交通確保維持改善計画（案）について

次の路線を、地域内フィーダー系統補助対象とし、国の支援を受けようとするものであり、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第１８条で準用する第８条の規程により生活交通確保維持改善計画策定のため、協議会の承認を求めるものである。

	本荘地域循環バス（2 系統）		羽広-軽井沢線（3 系統）
＜既掲載路線13 系統＞	中田代線	道川北線	西目線
	子吉線（3 系統）	八塩線	法内線



【地域内フィーダー系統補助の概要】

１　補助要件

・地域をまたがる幹線バス交通ネットワークと接続するもの
　（又は過疎地域等で地域をまたがる幹線交通ネットワークと接続するもの）
・経常赤字が見込まれるもの
・新たに運行を開始するもの（みなし適用含む）

２　新規性要件のみなし適用

・過去から継続している系統について、新たに運行する系統の主系統と、当該主系統と最も運行区間が重複する既存系統を比較し、
　①　異なる区間のキロ程が既存系統のキロ程の 20%を超える場合
　②　異なる区間のキロ程が３キロ以上の場合
　のどちらかに該当する場合は、新たに運行を開始するものとして取り扱う。

生活交通確保維持改善計画
（地域内フィーダー系統確保維持計画を含む）

（策定年月日）令和３年６月　　日
（協議会名称）由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会

生活交通確保維持改善計画の名称

由利本荘市地域内フィーダー系統確保維持計画

１．地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

由利本荘市は、秋田県の南西部に位置し、北は秋田市、南はにかほ市、東は大仙市、横手市、湯沢市、羽後町に接しており、面積は 1,209.60 ㎢で、秋田県の面積の 10.4％を占め、県内一の面積を誇る。

本市では鉄道２路線とバス 29 路線の公共交通網が形成されており、鉄道は日本海沿いにＪＲ羽越本線が本荘、岩城、大内、西目地域および市外を、子吉川に沿って山間部を運行する由利高原鉄道鳥海山ろく線が本荘、由利および矢島地域を結んでいる。羽後本荘駅では、これらの鉄道路線だけでなく各種バス路線と接続しており、相互の乗り換えが可能である。また、本市におけるバス路線は幹線を羽後交通（株）、支線を市のコミュニティバスが運行しており、中心市街地内では循環バスも運行している。

これまでは、羽後交通（株）の不採算路線を市が代替運行することで路線の確保に努めてきたが、過疎化や人口減少、高齢化の進行によって交通空白地域から公共交通の運行要望が増加しており、新たな対応・対策が必要になってきている。

＜地域公共交通確保維持事業により、運行を確保・維持する運行系統の概要＞

本荘地域循環バス	ＪＲ羽越本線、地域間幹線系統「象潟線」、「急行秋田線」と羽後本荘駅で接続する。
道川北線	ＪＲ羽越本線、地域間幹線系統「急行秋田線」と道川駅で接続する。
西目線	ＪＲ羽越本線、地域間幹線系統「象潟線」と西目駅で接続する。
中田代線	ＪＲ羽越本線、地域間交通ネットワーク路線バス「岩谷線」と羽後岩谷駅で接続する。
羽広－軽井沢線	ＪＲ羽越本線、地域間交通ネットワーク路線バス「岩谷線」と羽後岩谷駅で接続する。
子吉線	ＪＲ羽越本線、地域間幹線系統「象潟線」、「急行秋田線」と羽後本荘駅で接続する。
八塩線	地域間交通ネットワーク路線バス「急行横手線」、「東由利線」と道の駅東由利で接続する。
法内線	地域間交通ネットワーク路線バス「急行横手線」、「東由利線」と道の駅東由利で接続する。

２．地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

（１） 事業の目標

前期の「由利本荘市地域公共交通網形成計画」において、交通空白地域の解消を図るため「地域拠点を核としたフィーダー交通の導入」を推進し、その目標を達成している。令和２年４月に策定した次期計画である「由利本荘市地域公共交通網形成計画（第二次）」においても「地域内幹線であるコミュニティバスの運行と維持」として地域内のフィーダー交通の運行と維持を事業の一つとして掲げていることから、次のとおり目標を定める。

（由利本荘市地域公共交通網形成計画（第二次） P31、32 参照）

各系統の輸送人員による事業目標

系統名	実績	目標（年間輸送人員）		
	令和２年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
本荘地域循環バス	20,547 人	20,000 人	20,000 人	20,000 人
道川北線	254 人	200 人	200 人	200 人
西目線	2,353 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人
中田代線	8,731 人	8,000 人	8,000 人	8,000 人
羽広－軽井沢線	1,888 人	1,500 人	1,500 人	1,500 人
子吉線	1,690 人	1,400 人	1,400 人	1,400 人
八塩線	2,221 人	1,700 人	1,700 人	1,700 人
法内線	911 人	1,000 人	1,000 人	1,000 人

（２）事業の効果

本荘地域循環バス	双方向運行を行うことで、待ち時間と乗り継ぎの不便さの解消を図り、利用促進と新たな利用者の掘り起こしを含めた利用者数の増加が見込まれる。
道川北線	地元協議を重ね、一定の利用者が見込まれるほか、これまで直接行くことができなかった住民の利用ニーズの高い施設へ直接行けるようになる。
西目線	町内要望へ対応した運行経路の変更・延伸による、新たな利用者の掘り起こしを含めた利用者の増加。
中田代線	路線バスの廃止区間を補完した生活に欠かせない路線として、市のコミュニティバスを運行し、補完・維持していくもので、地元協議を重ね、地域の足の確保が図られる。
羽広－軽井沢線	市コミュニティバス「軽井沢スクールバス線」が地域の小・中学校の統廃合のためスクールバスへの混乗が取りやめとなり、同路線と市コミバス「羽広線」を統合した路線として開設する。地元協議を重ね、結節点である道の駅まで直接乗り入れられるようになるなど、利便性を考慮した路線設定とダイヤ編成を行うことで、利用促進が図られる。
子吉線	利便性を考慮した路線設定とダイヤ編成を行い、これまで直接行くことができなかった利用ニーズの高い施設に行くことができるほか、他地域へのアクセスに関する利便性が向上する。
八塩線	これまでの路線バスの代替えとして運行することにより、地域住民の生活の利便性を維持できるほか、フリー乗降区間を設けることでさらなる利便性の向上に繋がる。
法内線	通院や買い物の移動手段として一定の利用者が見込め、交通空白地域の解消が図られる。

３．２．の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

本市の公共交通を取り巻く状況は、人口減少や高齢化による利用者の減少のほか、市街地が面的に広がっている地域や、山間部などでは、居住地が点在している地域があるなど状況が異なっているため、各地域の検討委員会等で利便性向上と積極的な利用の促進を図るための対話会を行い、市・交通事業者・地域住民が一体となり取り組む。

また、持続可能なネットワーク形成に資するため各路線の便ごとの乗車データを収集し、利用率の良い便や悪い便の分析を行い、よりニーズに沿ったダイヤ編成を行う。

４．地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

表１のとおり。

５．地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者

・羽後交通株式会社、光タクシー株式会社、東交通株式会社

（由利本荘市から上記運行事業者への委託料については、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。）

・由利本荘市

６．補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称

羽後交通株式会社

光タクシー株式会社

東交通株式会社

由利本荘市

７．補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法【活性化法法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】

※該当なし

８．別表１の補助対象事業の基準二ただし書きに基づき、協議会が平日１日当たりの運行回数が３回以上で足りると認めた系統の概要【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

９．別表１の補助対象事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

１０．生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項
【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

１１．外客来訪促進計画との整合性
【外客来訪促進計画が策定されている場合のみ】

※該当なし

１２．地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要
【地域内フィーダー系統のみ】

表５のとおり。

１３．車両の取得に係る目的・必要性
【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

１４．車両の取得に係る目標・効果
【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

１５．車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の負担者【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

１６．老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）
【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

１７．貨客混載の導入に係る目的、必要性
【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

１８．貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果
【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

１９．貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

２０．協議会の開催状況と主な議論

【由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会】
・平成２７年５月１９日　由利本荘市平成 28 年度生活交通確保維持改善計画を承認
・平成２８年２月１０日　同計画の変更について承認
・平成２８年６月２９日　由利本荘市平成 29 年度生活交通確保維持改善計画を承認
・平成２９年６月１５日　由利本荘市平成 30 年度生活交通確保維持改善計画を承認
・平成３０年６月２２日　由利本荘市平成 31 年度生活交通確保維持改善計画を承認
・令和　元年６月２１日　由利本荘市令和　２年度生活交通確保維持改善計画を承認
・令和　２年７月１０日　由利本荘市令和　３年度生活交通確保維持改善計画を承認
・令和　３年６月　　日　由利本荘市令和　４年度生活交通確保維持改善計画を承認予定

２１．利用者等の意見の反映状況

・由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会への利用者代表の参加
・利用者目線に立ったワークショップの開催、沿線町内会や各種団体と対話会の開催
・運行車両内において「利用者アンケート」を行いダイヤ改正に反映
・地域の「総合支所だより」において意見や要望の募集（東由利地域）

２２．協議会メンバーの構成員

関係都道府県	秋田県交通政策課長 秋田県由利地域振興局総務企画部長 秋田県由利地域振興局建設部長
関係市区町村	由利本荘市長 由利本荘市企画財政部長
交通事業者 交通施設管理者等	東日本旅客鉄道株式会社秋田支社長 由利高原鉄道株式会社代表取締役社長 羽後交通株式会社取締役社長 （一社）秋田県ハイヤー協会本荘由利支部長 由利本荘警察署長
地方運輸局	東北運輸局鉄道部長 東北運輸局秋田運輸支局長
その他協議会が 必要と認める者	由利本荘市商工会会長 由利本荘市観光協会会長 秋田しんせい農業協同組合代表理事組合長 （一社）由利本荘医師会会長 由利本荘市教育委員会教育長 由利本荘市校長会会長 由利本荘市ＰＴＡ連合会会長 由利本荘・にかほ地域生徒指導研究推進協議会高校部会長 由利本荘市身体障害者協会会長 由利本荘市婦人団体連絡協議会会長 由利本荘市老人クラブ連合会会長 （公社）由利本荘青年会議所理事長 鳥海山ろく線運営促進連絡協議会会長 ８地域の公共交通利用者 秋田大学・秋田県立大学の准教授

【本計画に関する担当者・連絡先】
（住　所）秋田県由利本荘市尾崎１７
（所　属）由利本荘市企画財政部地域振興課
（氏　名）伊藤　善裕
（電　話）０１８４－２４－６３７８
（e-mail）tiiki@city.yurihonjo.lg.jp